

報道関係各位

2007年2月19日
XML技術者育成推進委員会

「XMLマスター：プロフェッショナル(アプリケーション開発)」 取得企業名を公表

XML技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学常任理事兼W3C Associate Chairperson 以下「委員会」）は、XMLアプリケーション開発、システム構築のプロフェッショナルを認定する「XMLマスター：プロフェッショナル(アプリケーション開発)」の取得者が2007年1月31日現在で10名以上在籍する企業名を本日より公表いたします。

以前よりXML技術者育成推進委員会では「XMLマスター」取得者50名以上が在籍している企業の企業名をWebサイト(<http://www.xmlmaster.org/company.html>)に公開してまいりましたが、XMLアプリケーション開発に特化した高度な技術を保持する「XMLマスター：プロフェッショナル(アプリケーション開発)」取得企業の公開の要望にも応えるため、この度、「XMLマスター：プロフェッショナル(アプリケーション開発)」公表の運びとなりました。

本日時点で「XMLマスター：プロフェッショナル(アプリケーション開発)」取得者が10名を超える社名公表可能な企業は、以下の5社（社名：50音順）になります。

キヤノンソフトウェア株式会社
(<http://www.canon-soft.co.jp/>)

株式会社CSKシステムズ
(<http://www.csk.com/systems/>)

株式会社日立システムアンドサービス
(<http://www.hitachi-system.co.jp/>)

株式会社日立情報システムズ
(<http://www.hitachijoho.com/>)

富士通株式会社
(<http://xml.fujitsu.com/jp/>)

XML技術者育成推進委員会では、今後も新たに10名以上「XMLマスター：プロフェッショナル(アプリケーション開発)」を取得した企業をXMLマスターWebサイト(<http://www.xmlmaster.org/company.html>)に追加掲載していくことにより、Webアプリケーション開発、システム間連携、統合など、「XMLマスター：プロフェッショナル」を必要とするシステム案件において、最適な提携先企業を随時紹介していく予定です。

#

XML マスターについて

「XML マスター」は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に 2001 年 8 月に発足された認定制度で、既に 1 万 4 千万名を超える認定技術者を輩出しています。XML 及び XML 関連技術の基礎を理解し、業務に活用できる技術力を認定する「XML マスター：ベーシック」と専門分野においての XML の高度な技術力を認定する「XML マスター：プロフェッショナル」の 2 つのレベルの認定で構成されています。

詳細はこちら：<http://www.xmlmaster.org/>

XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会は、以下の企業および団体によって構成されます。

- ・ XML コンソーシアム
- ・ 外資系情報産業研究会（略称：FIIF）
- ・ インフォテリア株式会社
- ・ NEC ソフト株式会社
- ・ NEC ラーニング株式会社
- ・ 株式会社大塚商会
- ・ グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社
- ・ 日本アイ・ビー・エム株式会社
- ・ 株式会社日立システムアンドサービス
- ・ 株式会社 日立製作所
- ・ 株式会社 PFU
- ・ 富士通株式会社

<お問合せ先>

office@xmlmaster.org

（電子メール）

<http://www.xmlmaster.org/>

（ウェブサイト）

嶋かおる

（担当）